

南アメリカ・オセアニア州

名前

問1 南半球のインド洋と太平洋に挟まれた広大な大陸であるオーストラリアや、ニュージーランド、および太平洋に点在する島々が含まれる州を何といますか。 (2018年 京都府公立入試 類似)

1. アジア州
2. アフリカ州
3. オセアニア州
4. ヨーロッパ州

問2 南アメリカ大陸の西側に位置し、アンデス山脈を抱える国の特徴について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 愛知県公立入試 類似)

1. 温暖で平坦な土地が広がり、大規模な灌漑設備を利用した稲作が盛んで、古くから仏教を厚く信仰する文化が根付いている。
2. 険しい山岳地帯にマチュピチュなどの石造りの遺跡が残り、高地でジャガイモの栽培やリャマの放牧が行われ、キリスト教を信仰する人が多い。
3. 赤道直下の広大な熱帯雨林が広がり、河川の流域では天然ゴムの採取や大規模なコーヒー栽培が行われ、独自の民族宗教が広く信仰されている。
4. 乾燥した広大な砂漠地帯が続き、オアシス周辺での農業が中心であり、生活のあらゆる面でイスラム教の教えが重視されている。

問3 1970年頃から現代にかけてのブラジルの主要な輸出品目の変遷について述べた文として、正しいものはどれですか。統計上の変化を踏まえて選びなさい。 (2024年 岡山県公立入試 類似)

1. 1970年頃には輸出額の3割以上を占めていたコーヒー豆の割合が低下し、2019年の統計では大豆が輸出額の1位となっている。
2. 1970年代から現代に至るまで、一貫してコーヒー豆が輸出額の5割以上を占め続けており、モノカルチャー経済の傾向がより強まっている。
3. 1970年頃から現在まで輸出品目の内訳にほとんど変化はなく、常に大豆が輸出額の1位であり、コーヒー豆は常に5位以下である。
4. かつては鉄鉱石や原油の輸出が中心であったが、近年はバイオ燃料の需要の高まりを受け、輸出品目をコーヒー豆のみに特化させている。

問4 オーストラリアの輸出相手国の変遷について、1960年にはかつての宗主国であるイギリスが輸出額の26.4%を占めて第1位でしたが、2010年には中国が25.3%で第1位となり、次いで日本、韓国が上位に入りました。このように、オーストラリアの主要な貿易相手がヨーロッパからアジア州の国々へと変化した背景として、最も適切な説明を選びなさい。 (2024年 大分県公立入試 類似)

1. ヨーロッパで結成された欧州連合(EU)にオーストラリアが加盟し、域内での自由貿易を推進したため
2. 地理的に近いアジア諸国の経済発展に伴い、資源や農産物の需要が高まったことで、地域的な結びつきを強めたため。
3. 白豪主義をより厳格に運用することで、アジア諸国との排他的な経済圏を構築しようとしたため。
4. イギリスとの植民地時代からの歴史的なつながりを重視し、イギリス連邦内での輸出額を大幅に増やしたため。

問5 ブラジル北部の赤道直下に位置するアマゾン川流域では、1年を通して月平均気温が25度から28度程度と高く、月間降水量も常に300mmを超えるような、非常に雨の多い気候が見られます。このような気候帯および気候区の名称として最も適切なものはどれですか。 (2024年 岩手県公立入試 類似)

1. 温暖湿润気候
2. 熱帯雨林気候
3. 地中海性気候
4. サバナ気候

問6 ブラジルやアルゼンチンなど、南アメリカ州の国々によって結成された地域統合の枠組みで、域内の関税撤廃などを進めている組織の名称として正しいものを、次のうちから選びなさい。 (2023年 千葉県公立入試 類似)

1. EU (欧州連合)
2. ASEAN (東南アジア諸国連合)
3. MERCOSUR (南米南部共同市場)
4. USMCA (米国・メキシコ・カナダ協定)

問7 南アメリカ州のアンデス山脈に見られる、険しい山地の斜面を石組みなどで階段状に整地し、限られた土地を効率よく利用して耕作を行う農法を何といいますか。 (2023年 福井県公立入試 類似)

1. 焼畑農業
2. 灌漑農業
3. ボルデル
4. 段々畑

問8 赤道が通過する地域のうち、兵庫県明石市(東経135度)を標準時子午線とする日本との間で、時差が約12時間と最も大きくなる国が含まれる地域を次のの中から選びなさい。 (2019年 福岡県公立入試 類似)

1. 東アフリカ
2. 南アメリカ
3. 東南アジア
4. 西アフリカ

問9 オセアニア州に属するオーストラリアなどの国々が、日本や中国、アメリカなどとともに参加し、地域全体の経済的な結びつきを強めることを目的としている組織(APEC)の正式名称として正しいものを選びなさい。 (2018年 京都府公立入試 類似)

1. 欧州連合
2. アジア太平洋経済協力会議
3. 石油輸出国機構
4. 東南アジア諸国連合

問10 資源大国であるオーストラリアの輸出品目について、輸出額の第1位と第2位を占める鉱産資源の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2019年 福岡県公立入試 類似)

1. 金とダイヤモンド
2. 銅鉱とボーキサイト
3. 鉄鉱石と石炭
4. 原油と天然ガス

問11 南アメリカ大陸を西海岸から東海岸に向かって横断した際の、地形の変化を説明した文として正しいものはどれですか。 (2024年 愛知県公立入試 類似)

1. 西海岸付近に標高五千メートルを超える急峻な山地がそびえ立ち、そこから東に向かうにつれて標高が二千メートル以下へとだらかに低くなっていく。
2. 大陸の西側から東側まで、全域にわたって標高四千メートル以上の険しい高原地帯が続き、標高の変化がほとんど見られない。
3. 西海岸から中央部にかけては広大な平原が続き、東海岸に近づくにつれて標高六千メートルを超える険しい山脈が急激に現れる。
4. 大陸の西側と東側の両方に標高五千メートル級の険しい山脈が並行して走り、その中間地点である大陸中央部が最も標高が低くなっている。

問12 世界地図における各大陸の位置関係について説明した文のうち、オーストラリア大陸の場所を正しく述べているものを選びなさい。 (2016年 富山県公立入試 類似)

1. 北アメリカ大陸の南側に位置し、東側はインド洋、西側は太平洋に囲まれている。
2. アフリカ大陸の北側に位置し、ヨーロッパ大陸と地中海を挟んで隣接している。
3. 東南アジアの南側に位置し、東側は太平洋、西側はインド洋に面している。
4. 南アメリカ大陸の南東沖、大西洋の南部に位置する広大な陸地である。

問13 16世紀から19世紀にかけての南アメリカの歴史について、植民地での大規模な農園や鉱山を運営するための労働力として、ある大陸から多くの人々が強制的に連れてこられました。この人々が連れてこられた大陸名を次から選びなさい。 (2023年 福島県公立入試 類似)

1. オセアニア州
2. アジア州
3. ヨーロッパ州
4. アフリカ州

答え合わせ・解説

問1	答え 3 オセアニア州	オセアニア州は、世界で最も小さい大陸であるオーストラリア大陸と、ニュージーランド、およびメラネシア、ミクロネシア、ポリネシアと呼ばれる太平洋の島々から構成されています。地理的にはインド洋と太平洋に囲まれており、日本とは季節が逆になる南半球に位置していることが大きな特徴です。
問2	答え 2 険しい山岳地帯にマチュピチュなどの石造りの遺跡が残り、高地でジャガイモの栽培やリヤマの放牧が行われ、キリスト教を信仰する人が多い。	ペルーは南アメリカ大陸の西部に位置し、国土を南北に貫くアンデス山脈の影響を強く受けています。標高が高い地域では、寒冷な気候に適応したジャガイモの栽培や、家畜としてリヤマやアルパカの放牧が行われてきました。歴史的には、インカ帝国の遺跡であるマチュピチュに象徴される高度な文明が栄えましたが、その後のスペインによる植民地支配の影響で、現在はキリスト教（カトリック）を信仰する人が多数を占めています。
問3	答え 1 1970年頃には輸出額の3割以上を占めていたコーヒー豆の割合が低下し、2019年の統計では大豆が輸出額の1位となっている。	ブラジルの経済構造は時代とともに大きく変化しています。1970年頃まではコーヒー豆に大きく依存していましたが、広大な土地を活用した大豆栽培や放牧による肉類の生産が活発化しました。また、アマゾン川流域などでの鉄鉱石の採掘や、海底油田の開発による原油輸出も盛んになりました。2019年のデータでは、かつて主役だったコーヒー豆に代わり、大豆が輸出額の首位に立っています。
問4	答え 2 地理的に近いアジア諸国の経済発展に伴い、資源や農産物の需要が高まったことで、地域的な結びつきを強めたため。	オーストラリアはかつてイギリスの植民地であった歴史的背景から、以前はイギリスを最大の貿易相手としていました。しかし、イギリスの欧州共同体（EC）への加盟による関係の変化や、日本、中国、韓国といった地理的に近いアジア諸国の経済成長による資源・食料需要の増大を受け、貿易の軸足をアジアへと移しました。これに伴い、人種差別的な「白豪主義」を撤廃し、多文化主義へと政策を転換してアジアの一員としての交流を深めるようになりました。
問5	答え 2 熱帯雨林気候	赤道付近は1年を通して太陽からの熱を強く受けるため、常に気温が高くなります。強い日差しによって上昇気流が発生しやすいため、アマゾン川流域などの赤道周辺では毎日激しい雨が降り、年間を通じて極めて降水量が多い「熱帯雨林気候」が形成されます。対して、同じ熱帯でも雨季と乾季のはっきり分かれるものはサバナ気候と呼ばれます。
問6	答え 3 MERCOSUR（南米南部共同市場）	南アメリカ南部の国々が、互いの経済的な結びつきを強めるために結成した組織です。加盟国間での関税を原則としてなくし、域外の国に対しては共通の関税を適用するなどの活動を行っています。ASEANは東南アジア、USMCAは北アメリカ、EUはヨーロッパの地域統合組織です。
問7	答え 4 段々畑	アンデス山脈は標高が高く、平地が非常に少ない険しい山岳地帯です。このような環境で農業を行うために、斜面を水平に削り、石を積んで土留めをすることで、階段状の耕作地を作り出す工夫がなされました。これは古くはインカ帝国の時代から、ジャガイモなどの栽培に活用されています。
問8	答え 2 南アメリカ	地球は15度の経度差で1時間の時差が生じるため、12時間の時差がある地域は、日本（東経135度）から約180度離れた西経45度付近に位置している。赤道が通過する地域には東南アジアやアフリカもあるが、日本と経度差が最も大きく、地球のほぼ反対側に位置するのはブラジルなどがある南アメリカ大陸である。
問9	答え 2 アジア太平洋経済協力会議	アジア太平洋経済協力会議（APEC）は、太平洋を囲むオセアニア州、アジア州、北米、南米の国や地域が参加する協力枠組みです。オセアニア州の主要国であるオーストラリアやニュージーランドは、地理的・経済的に密接な関係にあるアジア諸国との貿易や投資の自由化を推進するために、この組織で重要な役割を果たしています。
問10	答え 3 鉄鉱石と石炭	オーストラリアは広大な国土に豊富な鉱産資源を有しており、特に鉄鉱石と石炭の輸出額は世界でも有数の規模を誇ります。かつては羊毛などの農産物の輸出が中心でしたが、現在はこれら鉱産資源が経済を支える主要な輸出項目となっています。
問11	答え 1 西海岸付近に標高五千メートルを超える急峻な山地がそびえ立ち、そこから東に向かうにつれて標高が二千メートル以下へとなだらかに低くなっていく。	南アメリカ大陸の地形断面を見ると、西側の太平洋沿岸に非常に高く険しいアンデス山脈がそびえています。この山脈を越えて東（大西洋側）へ向かうと、アマゾン川流域に広がる広大な低地や、標高の低い安定した高原が広がっています。このように、大陸の西側に極端に高い山脈が偏っているのが南アメリカ大陸の大きな地形的特色です。
問12	答え 3 東南アジアの南側に位置し、東側は太平洋、西側はインド洋に面している。	オーストラリア大陸はアジア諸国の南側に位置する南半球の大陸です。世界地図で位置を確認すると、赤道よりも南に位置しており、東の太平洋と西のインド洋を分けるような場所にあります。他の選択肢にある「アフリカの北（ヨーロッパ）」や「北アメリカの南（南アメリカ）」、「南アメリカの南東沖」といった説明は、大陸の相対的な位置関係として誤りです。
問13	答え 4 アフリカ州	16世紀以降、スペインやポルトガルの植民地となった南アメリカでは、サトウキビなどの大規模農園（プランテーション）や銀山などの開発が進められました。そこでの過酷な労働に従事させるための労働力として、大西洋を渡ってアフリカ州から多くの人々が強制的に連れてこられた歴史があります。このことは、現在の南アメリカの多文化・多民族社会の形成にも大きな影響を与えています。